

## 令和5年度 看護職員研修計画

レベル	到達目標	必須課題	対象人数		5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レベル I	看護実践に必要な基本的能力を習得する。			集合研修		急変時対応	フィジカルアセスメント (病棟内で実施)	静脈注射レベル I		多重課題		看護観発表		
レベル II	①根拠に基づいた看護を実践する。 ②後輩と共に学習する。			集合研修			看護倫理 (倫理的ジレンマ)		KYT		院内留学(他病棟の看護実践・技術を見学)	院内留学学び報告・共有		
レベル III	①個性を重視した看護を実践する。 ②看護実践者として、後輩に指導的役割を果たせる。	ケーススタディ		集合研修			日々のリーダーの役割		後輩育成				ケーススタディ発表	
レベル IV	①後輩の学習を支援する。 ②チームリーダーとしての役割がとれる。	研究計画書		集合研修		看護研究 * 院外講師	意思決定支援		固定チームナーシングのチームリーダーの役割	研究計画書個別指導 * 院外講師		研究計画書個別指導 * 院外講師		(倫理審査委員会提出)
レベル V	前期: 幹部看護師任用候補者選考研修	研究論文(まとめ)		集合研修		幹部看護師任用候補者選考前研修 eラーニング 看護研究に取り組む	幹部看護師任用候補者選考前研修 eラーニング	管理研修(師長シャドー) (病棟内で実施)			研究論文個別指導 * 院外講師	研究論文個別指導 * 院外講師	看護研究発表	
	後期: 専門性の発揮、管理・教育的役割モデルとなり、研究への取り組みができる。	課題取り組み		集合研修	QC手法	自部署の看護サービスを向上させるための取り組み計画書提出	課題に取り組む						成果発表	
プリセプター	プリセプターの役割を理解し、新人の支援ができる。						フォローアップ研修						1年間の振り返り	次期プリセプター研修 (プリセプターシップ)
看護補助者	看護助手の役割を理解し、安全に業務を行うことができる。					基本姿勢と態度 個人情報の保護		安全安全・感染に関する知識・技術		業務遂行に必要な知識・技術① (生活環境に関わる業務)		業務遂行に必要な知識・技術② (日常生活に関わる業務)		
ジェネラリ	専門職業人として姿勢を培い、看護の質の向上が図れる。 * 1人1回～2回参加					コミュニケーションスキル		後輩育成		事例検討		事例検討		